



発行：日本共産党  
伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
TEL：72-2465  
ホームページ  
「JCP上伊那」

日本共産党の政策をお知らせします。ご意見をお寄せください。  
発行責任：柳川ひろみ

# 「子どもたちの未来に責任をもつ県政を」 県議選伊那市区

## 橋本明典 62歳(あきのり)さんの擁立を公表



日本共産党上伊那地区委員会は、1月31日に記者会見で4月7日投票の県議会議員選挙に、伊那市前原在住橋本明典(あきのり)さんを擁立することを発表しました。党伊那市委員会は、橋本明典さんの支援に全力をあげます。

「県の政治を変えたい」という幅広い皆さんに共同を呼びかけていきます。

小中学校の30人学級の実現など、子どもたちの教育環境の改善に取り組んできました。定年後は、上伊那医療生協の理事として、医療や介護の充実や、沖繩の玉城デニー県知事の選挙の応援にかけつけ

### 小中学校30人学級 実現に尽力

これまで野党と市民の共闘を行ってきた経過から、「安

橋本さんは、教員時代長野県教職員組合の役員として、

子どもたちが、豊かで伸びのびと成長できる学校や教育環境をつくる力になればと、地域の皆さんや教職員の皆さんと共に取り組んできました。しかし、子どもたちをとりまく教育環境や生活環境は、必ずしも保護者の皆さんや教職員、そして何より子どもたちが望むものになっていません。

### ごあいさつ

橋本明典



私は、長年教員として、子どもたちが、豊かで伸びのびと成長できる学校や教育環境をつくる力になればと、地域の皆さんや教職員の皆さんと共に取り組んできました。しかし、子どもたちをとりまく教育環境や生活環境は、必ずしも保護者の皆さんや教職員、そして何より子どもたちが望むものになっていません。

私たちの先輩方が戦後、血のにじむような努力で築き上げてきた民主教育や民主主義が、安倍政権のウソと、法律さえ踏みにつけて省みない強権政治で、大きく侵害されてきました。県民や地域の皆さんのくらしを守る防波堤である自治体行政も、国からの様々な圧力で機能不全になっています。

今、私にできることとして県政への挑戦を決意しました。ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いたします。

### 高校再編に市民の 声の反映を

高校再編の協議が始まっていますが、多くの方が知らないまま、普通高校の統廃合や、工業高校と農業高校の一本化の議論がされています。

日本共産党は、多くの方々の声を聞き、子ども達の意志が尊重されるよう求めてまいります。

県教育委員会は、「学びの改革」に力を入れていますが、そのための教員定数は国の基準内で取り組むと消極的です。

子どもが人数が減っていく中で教員を減らさず、高校でも30人学級の実現が今こそ必要ではないでしょうか。

### 子どもの貧困対策 などの充実を

県政について「県によって子どもの貧困調査が行われたが、その対策は民間団体任せ。もっと県が前に出て予算を付けて取り組んで欲しい。民間団体は手弁当で交通費も出ない」「県が推進した宅幼老所は、開設補助はあるが、10年もすると改修が必要で困っている。10年に一度は改修費の補助をして欲しい」「国民健康保険は県単位の広域化になったが、保険料は上がるばかり。もう少し県が支援して安くして欲しい」「リニアは推進ばかりで地元の声を取り上げてくれない」などの声

### 橋本明典さん プロフィール

伊那市前原在住、62歳。愛知県出身、信州大学教育学部を卒業後、長野県内の小学校で教員として36年間働き、その一方でつくしんぼ保育園の理事として活躍。長野県教職員組合副執行委員長などを歴任。

現在、つくしんぼ保育園副理事長、上伊那医療生協理事、長野県教育会館理事。

### あふれる正義感 弱いものの立場でがんばる 橋本さんを県政へ

橋本明典さんは、小学校教員時代に身体が弱い子どもとサッカーボールを蹴り合ったり、放課後に学習を見ていた。その子どものお母さんが、「息子が卒業できたのは橋本先生のお陰です」と語るのを聞きました。

また、県教職員組合の専従役員の時に、教職員の処遇改善にがんばってきました。沖繩県民の意志を無視した辺野古基地建设を許さないと、何回も沖繩へおもむき「デニー知事誕生」にも応援にかけつけました。橋本明典さんにぜひ県政で活躍をしたいと思います。(富県 竹松主裕)



⇒橋本さんが沖繩辺野古で撮った写真

市議の  
窓

柳川ひろみ





